

令和4年9月30日

令和4年度

第6号

西が岡

学校だより 10月号

自分大好き みんな大好き ひとみかがやく 西が岡の子

横浜市立西が岡小学校 泉区西が岡 3-12-11 TEL814-3603

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka/>

「しょうこ」っていうのかな？

学校長 佐藤 裕二

先日、授業中に2年生の教室をまわっていたら時刻の話をしていて、そこで思い出したことがあります。私が初めて2年生を担当した時のエピソードです。

算数「時刻と時間」で、昼の12時までを「午前」、昼の12時からを「午後」、そして昼の12時を「正午」ということを学習しました。その際、十二支「子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥」を紹介し、かつては十二支で2時間ずつを表したこと、昼の12時は「午の刻」の真ん中だから「正午」ということを話しました。

すると、ある子が「じゃあ、夜の12時は『しょうこ』っていうのかな？」とつぶやきました。周りの子どもたちからも「確かに！」「子の真ん中だから『しょうこ』だね。」と賛同の声が広がっていきました。

私はそのような言葉は聞いたことはありませんでしたが、その目の付け所にとっても感心し、子どもたちの前で辞書で調べてみました。その結果、「しょうこ」ではなく、「正子(しょうし)」という言葉がちゃんと載っていました。もちろん、意味は子どもたちが予想したとおりでした。これまで、私は全く考えたこともなかったので、あらためて子どもの思考の柔軟さに驚かされたのを覚えています。

子どもは本来、知的好奇心が旺盛で、いろいろなことを知りたがります。そんな子どもたちの意欲を伸ばしながら、日々の教育活動を行っていききたいものです。